

セメスター留学便り 11月号

上海での留学生活も早いもので、最後の1カ月となりました。復旦大学のキャンパス内のイチョウは黄金色に色づき始めて、季節の移り変わりを楽しむことができました。

卓球大会

日中交流の卓球大会が開催されました。日本人と中国人の学生がペアを組み、ダブルスの試合をしました。積極的に中国語を使ってコミュニケーションを取り、和やかな雰囲気で行われました。残念ながら國學院の学生から優勝者は出ませんでした。思い出に残る交流会となりました。



授業総まとめ テスト

最終週には各授業のテストがありました。口語のテストは、くじでペアを決めて、30分で会話文を作り、それを暗記して先生の前で発表するという楽しい内容でした。緊張しながらも全員が上手に発表することが出来たようです。文化講座の授業では太極拳や二胡などのテストもあり、二胡を選択した人たちは寮に帰ってからも練習に励んでいたようです。



修了式

最初に修了証書授与式が行われました。

その後3カ月間お世話になった先生方から一人ずつスピーチがありました。留学に来たばかりの頃は何を話しているのか解らなかった中国語のスピーチも、ほとんど理解できるようにまでなり、留学の成果を実感できました。

國學院の生徒から復旦大学の先生に向けて、感謝の意を込めた発表会も行いました。文化講座の授業で習った二胡や太極拳、画画（墨で描く絵）を披露、最後に「世界に一つだけの花」を全員で合唱して締め括りました。先生方は3カ月間の私たちの成長をととても喜んでくださいました。





まとめ

今年の留学は例年より1カ月短縮した3カ月間でした。が、その分一日の授業数も多く、内容の濃い生活を毎日送ることが出来ました。やっと中国語にも慣れてきた頃に帰国となるのはとても寂しく思いましたが、大変充実した楽しい留学となりました。

(中国文学科2年 森島翼)